

びんご圏域多文化共生推進ビジョン（素案）に対する パブリックコメントの結果概要

福山市市民局まちづくり推進部多様性社会推進課

1 パブリックコメントの結果概要

(1) 公表した案

びんご圏域多文化共生推進ビジョン（素案）

(2) 実施期間

2024年（令和6年）12月18日（水）～2025年（令和7年）1月17日（金）

(3) 公表場所

市ホームページ、市役所本庁舎（多様性社会推進課・市政情報室）、各支所、各分所、
各分室、中部地域振興課及び備後圏域各市役所・各町役場

(4) 結果

ア 提出数 3通（個人3通、団体0通）

（持参1件、電子メール2件、ファクシミリ0件、郵送0件）

イ 意見件数 5件

- ・意見を反映したもの 3件
- ・今後の参考意見とするもの 2件

2 意見の内容と考え方

(1) 意見を反映したもの(3件)

No.	該当箇所	意見の要旨	考え方
1	P25 基本方針2施策体系5	今後、外国人住民の高齢化も問題となる中、基本方針2施策体系5に「介護」も入れていただきたい。今後の支援の在り方をP28の「めざす姿」もしくはP29の「施策の方向性」で明記していただきたい。	ご意見のとおり、P25の基本方針2施策体系5、P28の「めざす姿」P29「施策の方向性」に「介護」を追記します。
2	P26 めざす姿「外国人住民と地域住民」	外国人住民と日本人住民の相互理解を深めることに加えて、「さまざまな言語と文化を持った外国人住民同士の交流を促進する」ことも進めていただき、この点を「めざす姿」に明記していただきたい。	ご意見のとおり、外国人住民同士の交流も含め、全ての住民同士の交流促進が必要であると考えています。ご指摘のとおり、「めざす姿」を修正します。
3	P29 施策体系2-3「アウトリーチ」	③ アウトリーチという言葉は、まだ定着した言葉になっていないと思う。「さまざまな形で、必要な人に必要なサービスと情報を届ける」などの説明が、P29の「施策の方向性」にあると分かりやすくなると思う。	ご意見のとおり、「アウトリーチ」について注釈を追記します。

(2) 今後の参考意見とするもの(2件)

No.	意見の要旨
1	外国にルーツを持つ子どもが希望する進路を選択できない状況はよくない。全ての子どもが教育を受けられる環境を整備してほしい。
2	外国人住民が活躍することで、訪日外国人の増加につながるなどの好循環が図れるとよい。